

授業科目名・形態	公衆衛生看護活動展開論Ⅲ 演習	必修・選択の別	選 択	単位数	1
科目担当者氏名	藤田 碧・下園 美保子	実務経験の有無	有	開講期	4年前期

【授業の主題】

公衆衛生看護活動のプロセスは長い時間と広域的な視野をもって展開されています。この科目ではこれまでの学びを統合し、コミュニティ全体を対象とした看護や住民との協働について学びます。また個別事例に象徴される地域の健康課題を見出す思考過程も経験的に学び、地域全体を俯瞰する視点を養うことを目指しています。また近年深刻となっている健康危機管理について、平常時の備えを含めた一連の過程を学びます。

【到達目標】

1. 地域の健康課題解決に向けた地域組織の育成、支援方法を理解できる。
2. 個別事例から地域の健康課題を把握する思考過程をたどることができる
3. 健康危機に対応する公衆衛生看護活動の一連を理解できる

【授業計画・内容】

- 第 1 回 地区/小地域を単位とした公衆衛生看護活動 と理論的基盤
- 第 2 回 地域の住民組織の育成・支援と公衆衛生看護活動の協働
- 第 3 回 個別課題から地域課題への視点Ⅰ 個別の健康課題から見える地域課題
- 第 4 回 個別課題から地域課題への視点Ⅱ 地域課題の改善に向けた支援
- 第 5 回 実習施設における公衆衛生看護活動
- 第 6 回 実習施設における公衆衛生看護活動
- 第 7 回 健康危機管理における健康調査、人権擁護、危機管理のサイクル
- 第 8 回 リスクコミュニケーション
- 第 9 回 演習：自然災害における公衆衛生看護管理機能（急性期・慢性期）
- 第 10 回 演習：自然災害における公衆衛生看護管理機能（復興期・準備期）
- 第 11 回 保健師活動指針と公衆衛生看護活動の実際
- 第 12 回 公衆衛生看護活動の実際と各種理論モデル
- 第 13 回 公衆衛生看護活動の長期的展開過程（対人保健分野）
- 第 14 回 公衆衛生看護活動の長期的展開過程（課題と施策化）
- 第 15 回 地域特性を踏まえた公衆衛生看護活動

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

授業前後で配布する資料を熟読し、事例についてイメージを持ち予備知識の充足、授業後の理解の定着を行う。

【主な関連する科目】

「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ」等 公衆衛生看護学の科目および「公衆衛生看護学実習」

【教科書等】

荒賀直子・後閑容子ら編 「公衆衛生看護学.jp 第5版」 インターメディカル出版、2020

【参考文献】

佐伯和子ほか：公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護の方法と技術第2版、 医歯薬出版株式会社、2022
 守田孝恵：PDCAの展開図でわかる 「個」から「地域」へ広げる保健師活動』 改訂版、クオリティケア、2019
 牛尾裕子ほか：ワークブック地域/公衆衛生看護活動事例演習、クオリティケア、2019
 吉岡京子ほか：保健医療福祉専門職のための事業化・施策化のすすめ方、クオリティケア、2019
 全国保健師協会：大規模災害における保健師の活動マニュアル、公衆衛生協会、2013

【成績評価方法】

前期定期試験の成績 90%、 授業態度 10%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師経験等を活かし、公衆衛生看護活動のダイナミクスを伝えていきます。

【学生へのメッセージ】

今までに学んだ科目を統合し、住民とともにつくる健康な地域支援体制づくりや個別の健康課題から地域の健康課題の改善へと展開する公衆衛生看護活動を学びます。個人やコミュニティに学び、個人やコミュニティに還元する公衆衛生看護活動のダイナミクスを学んだうえで実習に臨みましょう。